



第11回運営委員会 結果概要

【日時】 2023年5月1日（月） 10:04～11:37

【場所】 オンライン会議（ZOOM）

【参加者】 中核機関5名、参画機関5名、及び事務局（別紙のとおり）

【概要】

● 開会挨拶

運営委員会委員長の椿広計統計数理研究所長より、昨年度実施した自己点検へ協力に対する謝意とともに、この点検結果を基にコンソーシアム活動の改善をすすめることを表明。また、今回の運営委員会では、①2022年度の活動報告や2023年度の事業計画、②4月から開始された第2期大学統計教員育成研修の追加選考結果、③事業計画中最終となる第3期大学統計教員育成研修の募集、④本年9月に修了する第1期大学統計教員育成研修修了者との繋がり確保、⑤参画機関拡大に伴う運営委員会自体の体制の強化など、プロジェクトの重要な取組が議題となっており、総会に繋がる忌憚のない意見をお願いしたいことなどを要請。

● 議事

○ 統計数理研究所 山下智志 副所長の議事進行により、以下の議題について審議した結果、委員からの異議や修正意見等は示されなかった。

1. コンソーシアムの2022年度活動報告及び2023年度事業計画について
2. 大学統計教員育成研修について
 - (1) 第2期追加募集育成対象者の選考結果について
 - (2) 第3期大学統計教員育成研修の募集について
3. 大学統計教員育成研修修了者に対する支援について
4. プロジェクト期間後半の運営委員会体制について
5. その他

○ この審議結果を踏まえ、参画機関の協力も得て、第3回コンソーシアム総会に向けた①活動報告及び事業計画の作成・精査、②第3期大学統計教員育成研修の募集準備、③大学統計教員育成研修修了者に対する支援方策の精査、④今回の提案に沿った運営委員会体制の強化に向けた調整などを進めることとなった。

○ 主な質疑等は以下のとおり。

【議題1 関連】

- ・ 2023年度の委託費配分計画について、総額を維持しつつ間接経費を3割から2割に減額も可能とする措置は「統計エキスパート育成システムの構築に係る業務」以外も可能という理解で良いか。
 - 2023年度契約から全ての委託業務について、同様の措置を導入している。ただし、学

内の会計規定等の制約から、実際に減額措置を講じた例は一部にとどまっている。

【議題3 関連】

- ・ 研修修了者に対する支援は、重要な取組であり、具体化を進めていただきたい。ちなみに、本学では、「招へい教員等」として教育・研究活動に従事する過程で発生した事故や疾病に対し、大学加入の保険により災害補償を行う仕組みが講じられている。

また、第1期修了者が第2期研修におけるレクチャータイプの授業に参加することや、修了者が統計関連学会に加入していなくても、統計学会統計教育委員会の活動状況等を提供するような措置も有益ではないか。

→ 現在は、「客員助教」の称号付与について機構内の調整を進めているが、機構内の実験系研究所における補償制度等についても情報収集したい。また、第2期以降の授業について、研修修了者の参加も可能とするほか、情報提供の充実も図りたい。

- ・ 支援策の具体化を進めていただき、理解しやすくなった。今後は、所属する参画機関において修了者が育成する「統計エキスパート」のあり方、実績などについても検討が必要ではないか。研究室における論文指導とするのか、講習会・講義等も対象にするのかなど、その基準・考え方等も示してほしい。

→ プロジェクト応募時には、大学院修士レベルを対象とする講義実績という考え方もあったが、現在のところ、明文化された基準等は定められていない。このため、第1期研修が終了する9月末までに、各参画機関の特性等にも留意した定義・基準等を検討したい。

- ・ 支援方策の全体像は良く分かった。特別会員・客員教員として、研修修了生との繋がりを保つことに賛成である。この取組をシステム化・推進する観点から、①修了生が模擬授業に参加し、コメントや事例を示すような仕組み、②育成対象者への悩み事相談の実施、③科研費等を活用した共同研究の実施、④修了者の情報交換の場を設けることなども検討していただきたい。

→ ご指摘の点は取組を進めているものの、システム化が進んでいないのが実状である。更なる充実に努めていきたい。

- ・ 支援方策には異論はない。あえて加えるとすれば、この研修修了者の統計教育に関する能力について、対外的にも信頼を得るような取組も必要ではないか。

→ その対応の一つとして、統計数理研究所がその能力を認定し、「客員助教」又は「客員准教授」の称号を付与することとしている。また、研修の修了証についても、研修内容の質を保証できるものと考えている。

- ・ 本日の資料・説明で支援方策の方向性がクリアとなった。研修修了者と中核機関との情報共有の場・困ったときの相談先、そして、単なる修了書類とならぬように就職時の質保証などの検討を進めていただきたい。

(以 上)

文責：コンソーシアム事務局（統計数理研究所大学統計教員育成センター統括部）

別紙

第11回 統計エキスパート人材育成コンソーシアム運営委員会

参加委員名簿

2023年5月1日

【中核機関】

- 椿 広計 (統計数理研究所長)
山下 智志 (統計数理研究所副所長)
千野 雅人 (統計数理研究所 大学統計教員育成センター長)
中西 寛子 (同センター 研修部長・研修主幹)
水田 正弘 (同センター 研修部 教育システム開発主幹)

【参画機関】

- 狩野 裕 (大阪大学 大学院基礎工学研究科 教授)
梶原 健司 (九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所 所長)
杉山 学 (群馬大学 情報学部 副学部長・教授)
椎名 洋 (滋賀大学 大学院データサイエンス研究科 教授)
矢部 博 (東京理科大学 データサイエンスセンター長)

【事務局】

- 澤村 保則 (統計数理研究所 大学統計教員育成センター 統括部長)